夕刊 臺灣日日新報 第一万五千三百八十七號 (一)
(第一版) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十八年一月五日 (火曜日)

凄愴なる決戰の連續
生産戰にも米國を擊碎

【東京發】東條首相は元旦新春の時の感激さめ切らぬ中に、更に新たなる決意と覺悟とを以て、大東亞の盛大な地盤において大東亞の盛大な地盤において大東亞の盛大な地盤において

島民感謝の必勝獻金
陸海軍部へ殺到
新春僅か三日にて四千餘圓

各地の政始式

戰ふ樂壇の決戰第二年
本年度新事業に各部門を總動員

甲種水產學校を設立
十八年度豫算に所要經費計上

中商、南一中けふ決勝戰

志願兵の趣旨徹底へ
島都各所で講演會開催

ビルマに放送管理局設置
初代局長に松内則三氏

島都の「防火陣」完璧
けふ恒例の出初式擧行

南方共榮圏の新春
青嵐宗匠俳句と絶緣
政治も斷念した砂田軍政顧問

昭南の巻（下）

ビルマに迎へる新春

二國志
（940）（赤壁の巻）
吉川英治作
矢野橋村畫

撃滅進軍
今年の決意火の如く
第二年

臺灣日日新報　第一万五千三百八十七號　昭和十八年一月五日（火曜日）　（第二種郵便物認可）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）（第二號）

臺灣新民報

日本唯一夕刊　共六頁

嚴かに政始の御儀

【東京發】謹んで新春を寿ぐと共に陛下には午後二時より宮中三殿に親しく御拝礼あらせられ次いで松の間に於て親しく入閣あらせられたる閣僚より謹んで年頭の御挨拶を申上げ恭しく御盃を賜はつた

新年宴會御取止め　時局に畏き大御心

【東京發】謹んで新春を寿ぐと共に國が未曾有の大戦争を戦ひ抜き大東亜の建設に邁進しつゝある時局に鑑み畏くも天皇陛下には四日宮中三殿に於ける御儀を了らせられた後、この例年恒例となつてゐる新年宴會は御取止めとなつた

【東京發】謹んで新春を寿ぐと共に國が未曾有の大戦争を戦ひ抜き大東亜の建設に邁進しつゝある時局に鑑み畏くも天皇陛下には四日宮中三殿に於ける御儀を了らせられた後、この例年恒例となつてゐる新年宴會は御取止めとなつた

海鷲メラウケを攻撃　敵の航空基地を破壊

來襲の敵機南北に擊退

【東京發】大本營發表（昭和十八年一月四日十四時）

一、ニューギニア島方面帝國海軍航空部隊は蘭領三十日、三十一日兩日に亙り同島南部メラウケを攻撃し建設中の敵航空基地を破壊しその使用を不能ならしめたり

二、ニューブリテン島、ソロモン群島方面所在部隊は蘭領三十一日以來一月二日までにムンダ、ラバウル、スルミ方面に執拗に來襲せる敵機延數五十數機を撃退せり、特に一月二日ムンダに來襲せる敵機は三十數機にして我が地上砲火に依りその六機（內不確實二機）を撃墜せり

三、鳴神島方面帝國海軍航空部隊は蘭領三十日より一月一日に亙り來襲せる敵機と交戰し敵戰鬪機五機を撃墜せり

尙所在部隊は地上砲火に依り敵B二五一機を撃墜せり

反樞軸軍發表　ワシントン四日發同盟】メルボルン來電、南西太平洋方面の連合軍は日曜日【一月三日】ニューギニア島北岸のメラウケ港を攻撃した

府豫算案諒解成る　近く歸任の齋藤長官談

【東京發社報】大東亜戦爭第二年目を迎へ全國民の戰ひ抜かんとする決意の下に開かれた第八十六回帝國議會は四日貴族院本會議を開き政府提出の昭和十八年度一般會計歲入歲出豫算案、臨時軍事費特別會計豫算案、豫算總則案、國債整理基金特別會計豫算案、國債に關する法律案、臨時軍事費特別會計法中改正法律案、臨時軍事費特別會計國債に關する法律案、臨時軍事費特別會計法第二條第一項の規定に依る豫算外國庫負擔行爲に關する豫算

社說

敵の謀略的平和論を爆碎す
フーバアの和平論の狙ひ

一

實際、國際聯盟の際よりところに依ると、アメリカに於ける最高大投票アーサアの和平論とその一人といはれる、人口二百萬市長のアメリカに於ける、二三の實際りた和平論者達でもなんでもないのだが、フーバアの和を問題とする政治家が、即時部十年の間題とすべき問題としたかが、最はいささか意味に依ひもんことでもない。ただこの時、特に有人として登場することは、同フーバアでなくとも、誰にもせよ、アメリカの和平論者が實際として彼の實現を期待としてゐることであつて、ルーズベルトによつて支配せられる民主黨デアメリカの政治的勢力が放棄されてゐないといふことである。このことは、未來の國際的なる意味と國際の時よりつて來の和平問題の解と價すると彼の立場とを、正面から對立するものであつて、その限りに於て彼の發言を國際に關聯すべき何等のいはれを有しないのである。

二

もつとも、かく觀へばとて、アメリカに於ける彼の平和論者達がいふので、はなから、ランドバーク大使夫人の如きその一人であり彼女として、根據國際のもつともよき理解者であり、正しき意味に於ける世界の知性を代表する彼の平和論をいふべきまであつた。そのリンドバーク夫人をも日米國會議に於ては今の國際を一擧、夫リンドバークとをも國際の敵に廻かんとする狂つてゐるのである。一國の力だけ、國際を指導しうる時代に於ては、最早や國際、指導的平和論者といふものではなく、リンドバーク夫人の如くより良く認識しなければならぬ時代である。況んや、彼のヤンキー的誇り强き國の平和論者は、一時の風立派和平論者の如きは、世界の大勢をしらぬ低能の必然に眠る者共し、時勢認識の力を缺如し、ラヴからの平和的解決力の大を提示出來ないで、單に平和を叫べしの如きは、ただしく國際を誤るものである。國際平和を叫ぶ前に、先づ國際の實相を認識しなければならないのである。

三

國際聯盟の日に當り、アメリカに於ける平和論者達の、この時局に對する認識の程度を知つて、その平和論の價値を批判することは、我々國民にとつて、決して無意味ではないのである。

海上輸送の完璧化
軍官民關係者が協議
きのふ交通局で下打合

【臺北電話】海上輸送の完璧化を期するため、軍官民關係者の協議會は、昨日午前十時から交通局會議室に於て開かれた。

會議は、先づ交通局長から、海上輸送の現狀と、これが完璧化を期するための諸問題について、具體的な協議を遂げた。

重慶政權を潰滅し
大東亞共榮圈の確立へ

臺銀券の發行堅實
十七年中の動きを見る

製材能力の高度利用

製材企業態を整備
木材統制機構一元化へ
督府殖産局要綱を發表

廣大なゴム園面積
馬來は錫とゴムの寶庫

物資配給圓滑へ
町內會消費經濟部設置

五分搗米の配給
食糧局で具體的な協議

新規契約增加
十九保險會社
事業成績發表

東亞氷糖製菓
操業を開始

免稅の特典に活せ
社債公社

商況（四日）
長期諸株
軒並安へ

興亞工業大學
臺北市表町二ノ二二
國際電氣通信株式會社
臺北支所
中堀通
親音受信所
中堀鐵製造株式會社
中堀鐵工所
中堀街
中堀製紙業株式會社
中堀工場
中堀中堀街
日本拓殖株式會社
電話一二番
臺灣模型航空機配給組合
理事長 村木忠次
專務理事 仲下忠男
新竹支部 嘉義支部
臺南支部 高雄支部
蓬萊紙業株式會社
社長 江里口秀一郎
專務取締役 村榮太郎
中堀街
中堀中堀街
中央商會
電話一二五番
中堀街
中堀鐵道株式會社
中堀驛前
中堀合同運輸株式會社
中堀驛前
楊梅消費米共精共販組合
中堀街
興南商會
中堀街
中堀街
東洋醫院
中堀街
中堀街
甘泉株式會社
中堀街
中堀街
中堀街

必勝生活體制確立へ
指導者の陣頭指揮
特別志願兵志願受付
臺北市・十日の日曜から開始

戰勝への決意鞏固
坪上大使歸朝　泰國の現狀を語る

坪上駐泰大使大東亞省創設以來初の歸朝（寫眞は記者團と會見の同大使―厚の機上で

傾國の妖花宋美齡
今は紐育でヒステリー療養
思ひられた八仙閣

輝く榮冠臺南一中へ
全島中等選抜野球終る

電力の消費を制限
けふ告示をもつて規正發動

石油饑饉深刻化
米國の戰時生産に打撃

國威宣揚

地球鉛筆

新生香港の横顔 (一)

最前線大相撲が始つて、戰闘の血潮にあつて甲乙丙、戰闘の風に吹かるゝ、せめてその風に吹かせようにと、出征軍の子供らを連れて、サア出て来いと土俵をこしらへ、コラ、コラ、たんなゆう取つた取つたと、勝つた負けたの騒ぎを、後を下げて、もつとうつとエヤーとさ、照明りもおぼえなく……実をとるやうな、取つた取つ